



かわら版 KAWARABAN

第58回全国手話通訳問題研究集会
～サマーフォーラムinきょうと～



= 式 =

2025年8月9日
(速報第11号)

Instagramからも
発信しています！



記念講演

マンガと偏見の複雑な関係

～本当に「マンガはわかりやすい」のか～



京都精華大学マンガ学部教授
学校法人京都精華大学 理事長
吉村 和真氏



8月8日、吉村氏に記念講演をしていただきました。

吉村氏自筆のイラストや実際のマンガを参考にしながら、度々笑いが沸き起こる雰囲気が進められました。

「マンガ」というと、子どもでも読みやすく、幅広い人にとって分かりやすい媒体だというイメージを多くの人が持っているのではないのでしょうか。しかし吉村氏は、マンガには容姿などの、ある属性に対する「ステレオタイプ（固定観念）」が内在しており、またマンガの独特のルールや文法（コマ割りなど）があると言います。そのように考えた時、本当にマンガは分かりやすいのでしょうか。吉村氏は問いを投げかけます。

マンガはいまや世界的な文化となり、特にマンガ大国日本で暮らす私たちにとって、非常に気づきの多い講演となりました。



参加者の声



☆ 記念講演編 ☆

マンガと障害の結びつき、障害の表現方法等、多くの気づきがありました。マンガは文字と絵だけではなく、文字の濃淡で声のトーンや大小、誰に向けた発言なのか、全て表すことができる奥が深いものなんだと感動しました。あまりマンガを読んでこなかったが、興味が湧いてきました。
(福島 加藤さん)

さまざまな読み方、捉え方があって、マンガの見方が分からない方もいらっしゃると思いました。より深掘りしてお話を聞きたいと思いました。
(鹿児島 横溝さん)

ろう者のマンガに対する親和性はこれほどとは思わなかった。マンガは単なる娯楽ではなく、ろう者にとって重要な学びの場である。
(匿名希望)

偏見と差別について、この違いは限りなく大きいもので、さりげない差別がこの世にはたくさん隠れていると思います。学びの多い良い講演でした。
(静岡 黒石さん)

おこしやす！交流会



夏らしく浴衣でお出迎えしました



京都駅ビルにあるホテルグランビア京都で開催された大交流会は、浴衣の司会をはじめ実行委員会が参加者をお出迎えしました。

シャンパンで乾杯の後、各テーブルでの会話が始まり、クイズタイムでは、京都にちなんだ問題をはじめ、デフリンピック、全通研集会、吉田実行委員長の靴のサイズ！？に関わる出題などがありました。



クイズ大会の1～3位には、京都の銘菓を贈呈しました。



ビール3杯飲みました。牛肉と季節野菜のデミグラスの煮込が美味しかった。(富山県・Iさん)

回るテーブルで料理を自分で取り分けできるのがよかった。クイズは、みんなで相談できて、チーム対抗で良かった。
(静岡県・田宮さん)

A講座南コース



手話メイトによる
嵐山観光ツアー

京都府立鷹の巣学校
歴史を学びました



A講座北コース



いこいの村(綾部市)
これまでの歩みを学びました

子ども企画

京都国際マンガミュージアム



寝転がったりしながら、思い思いに
マンガを楽しみました！



梅の木寮での交流



栗の木寮の生活について